

令和5年度

4号

# トトモニ

しおじり協働通信  
令和5年度

ご自由にお持ちください

TAKE  
FREE

4号

しおじり協働通信トトモニ 令和5年度 第4号

TAKE  
FREE



特集 「あの人とともに」

ピアリイ

ご家族の笑顔で子どもたちを笑顔に

皆さんの思いや活動を応援します！

まちづくりチャレンジ事業補助制度

市民のみなさんへ お知らせ

## まちづくりチャレンジ事業補助制度

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための公益活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。令和6年度の募集受付期間は一次募集を4月に、二次募集（トライアルのみ）を8月に予定しています。塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

●●◆◆□■ 選べる“チャレンジのカタチ” ■□◆◆●●

<b>体験型 トライアル事業</b>	「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけを得てもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。	<b>発展型 ステップアップ事業</b>	「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。
------------------------	---	--------------------------	---

事業	体験型： トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業（公共を担う事業）実施に向けた事業展開
補助限度額	10万円	20万円	20万円	40万円
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	4月1日から14日まで 8月1日から15日まで	4月1日から14日まで		
採択基準	<input type="checkbox"/> 目的が明確か <input type="checkbox"/> 公益性があるか	<input type="checkbox"/> 目的が明確か <input type="checkbox"/> 自立しているか、あるいは自立を目指しているか	<input type="checkbox"/> 公益性があるか	
研修・交流会等への参加（必修事項）	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加 ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や地域のどのような問題を解決するための活動なのか不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少数に限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

本誌に関する  
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 市民活動支援係

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350

E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320

E-mail:ennowa@hotmail.co.jp http://ennowa.naganoblog.jp/

「家族の笑顔で子どもたちを笑顔に  
ピアリイ」

「家族が元気であることが我が子にとって、一番大事。だからこそ、ご家族を元気づけることで、その元気が子どもたちに届いてくれることを願っています」と熱く語ってくれたのは、「ピアリイ」の共同代表の倉下由紀さんと吉村さやかさんです。

病気や障がいを抱える子がいる親であるお二人。「子どもに病気があることで、不安を感じたり、他の家族と違い、居場所が簡単には見つからず、孤独を感じて悩んだりしていました」と倉下さん。そんな時に、吉村さんから声をかけられて、活動を始めることになりました。吉村さんは、「自分ができることが何かあるのでは?という思いがありました。でも、具体的に何かするまでには至らなかった。でも、由紀ちゃんと話をし

て、共感してもらえたことで、今やらないでいつやるんだと思うようになってきました」と当時を振り返ります。

ピアリイが大事にしている活動のひとつが「ピアサポート」です。似たような境遇の仲間が寄り添い、支え合い、ともに成長しあうことを目指しています。「子どもの障がいを受け入れるたびに、他の人と関わるのが怖くなった時期がありました。当事者同士だけ



ら安心してつながることができ。そんな場所が必要です」。そして、それを実現する場として、おしゃべり会を開催しています。安曇野市で活動をしている団体と一緒に、毎月オンラインで開催している他、昨年9月には初めての対面式おしゃべり会を開催。参加した人たちは普段の生活をふりかえり、想いを吐き出します。「初めて自分の気持ちを他の人に話すことができました」という人が何人もいて、次の開催を切望してい



ピアリイ  
メインサポーター  
ハナちゃん



る人もいるそうです。当事者同士がなかなかつながることができていないという現状、そして、つながりの場が必要だということを改めて感じました。

当事者同士に限らず、活動1年目である今年度は対話に重点を置いていきます。ご家族が抱えている悩みを行政や福祉関係者に伝えるために、市長や知事も対談をおこなってきたそうです。「今まで障がい等を抱える子を持つご家族

は、自分だけでがんばってきたので、課題が表面化していませんでした。対談でこういうことがあるんですと伝えても、そうですね。と共感されるのではなく、そうでしたかという反応が多かった」と自分たちから課題を発信する大切さを実感されたとのこと。

そこで、昨年12月には「透明人間」という写真展とトークイベントを開催。東京在住の写真家 山本

美里さんの心に訴えかける作品を展示し、実際にお話を伺いました。「このトークイベントにどうしても参加したくて、初めて子どもを預けました」という方がいて、ご家族の前向きな一歩を踏み出すきっかけになりました。

自分のやりたいことを閉じ込めず、どうすれば実現できるかを考えたい。ピアリイは、同じ境遇だからこそできるサポートと一緒に考えてくれます。

お気軽にご連絡ください

詳しくは、LINE公式アカウントをご覧ください。  
Instagramでも情報発信しています。



peerley.hana2023@gmail.com

しおじり協働通信「トトモニ」バックナンバーのご案内

塩尻市市民交流センターでは、市民活動の推進及び市民の皆さんへの情報提供を図るため、市民活動団体の活動やイベント情報を紹介する、しおじり協働通信「トトモニ」を平成24年度から発行しています。

「トトモニ」は、市民交流センターや市内の各支所などで配布しています。

過去の「トトモニ」については、塩尻市のホームページからご覧いただくことができます。

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/37/3992.html>

